



朋 友

ほう
ゆう

第19号

2017 (平成29) 年
10月31日発行

発行所

京都市下京区堀川通花屋町下ル
仏教壮年会連盟広報委員会

題字：理事長 宮南 靖

「朋友」とは、同信のなから。
2008 (平成20) 年4月の仏教
壮年会連盟発足にあたり、
仏教員が力を合わせ、とも
に歩を進めていこうという
願いから名づけられました。

専如ご門主お言葉

「2017年度仏教壮年会連盟第1回評議員会」(6月17日)が開
催され、専如ご門主にご臨席賜りお言葉を頂きました。

皆様にはお忙しい中を2017年度仏教壮
年会連盟第1回評議員会にようこそご出席く
ださいました。また、皆様には任期中各単位
会の活動が活発になりますよう、どうぞよろ
しくお願いいたします。

昨年10月1日より本年5月31日までの10期
80日間にわたる伝灯奉告法要では、期間中約
45万人の方に本願寺にお越しいただき、法要
には約15万人の方にご参拝いただきました。
無事に法要をお勤めできましたことに感謝申
しあげます。ご法要をお勤めして今日まで浄
土真宗のみ教えが伝わってきたこと、また私
がみ教えに出遇うことができたことをありが
たく思うとともに、このありがたいご縁を大
切に受け止めて、み教えが、より多くの方々
に伝わるよう精一杯努めさせていただきたい
と改めて思っております。

現代社会は、従来のようにお寺と地域社会、

ご門徒が身近な関係にあった時代とは大きく
変化しました。ご家庭の中で阿弥陀様のこと
や浄土真宗のみ教えに触れることなく、また
お寺とのご縁もあまりなかったという方も多
いことでしょう。しかし、すでに2500年
前にお釈迦様がお説きになったように現代人
である私たちも様々な苦しみや悩みを抱え、
自分の思い通りにはならない人生を生きてい
ます。ですから、親鸞聖人が説かれた浄土真
宗のみ教えが、必ず多くの方の生きる支えと
なり、依りどころとなります。

皆様には、各地のお寺でみ教えを聞いてい
ただくとともに、ご家族の方やご縁ある方へ
もみ教えを伝えていただきたいと思います。
そして今後とも各地における仏教活動がより
盛んになりますよう、どうぞよろしく願ひ
いたします。

第22回 全国仏教壮年東北大会

第22回全国仏教壮年東北大会実行委員長
東北教区仏教壮年会連盟理事長

佐藤 治雄



2017年9月2日、専如ご門
主ご臨席のもと、全国各地から
1300人を超える仏教壮年が、
「ともにいのち輝く朋友の笑顔」の
テーマでトークネットホール仙台に
会しました。

連盟旗入場に始まり、東北教区仏
壮会員が讃仏偈の調声をつとめ、参
加者全員で唱和しました。ご門主の
お言葉に続いて、結成50周年以上を
むかえる単位仏壮の表彰を行い18も
の仏壮が表彰されました。



ご門主様のお言葉



会場全体が緑の式章でいっぱい



東北教区仏壮会員が讃仏偈の調声



結成50周年以上をむかえた18単位の寺院仏壮

第22回 全国仏教壮年東北大会





記念講演 足利一之住職



笑顔と涙で溢れかえる会場

記念行事として、桂小枝師、桂三金師の落語が披露され、会場がどつと湧きました。記念講演では足利一之住職(宮城組・専能寺)が「たのむより先に」という内容でご講演され、会場は笑いと涙で最高潮な盛りあがりを見せました。



東北教区 仙台すずめ踊り



熊本教区 ちょんかけコマ

続いて開催されました歓迎レセプションでは、熊本教区のちよんかけコマ、東北教区仙台すずめ踊りなどの伝統的出し物も披露され、改めて全国の仏壮会員の結びつきを深めることに、一役かっていたことと感じました。



左：宮南理事長
中央：前田副理事長
右：田仲顧問(前理事長)



東北大会実行委員の皆様

寺院数そのものが数少ない東北の地での大会で、何かとご不便をおかけしたと思いますが、準備の段階から全国から仏壮の仲間がかけつけてくれ、東北のスタッフとともに会場の後片付けにまで汗を流してくれました。そのおかげでなんとか皆様をお迎えすることができました。翌日の津波被災寺院にお参りするツアーでも様々な教区の方々との交流が図られ、改めていのちに向き合う時間が取れたとのお声をいただきました。



次回開催 備後教区の挨拶

なお次回の開催地は、平成32年備後教区です。また全国の仏教壮年の朋友とお会い出来ることを楽しみに3年後を迎えましょう。



専能寺に集う各教区の仏壮会員

「新役員決定」

理事長

宮南 靖 (東京)



居場所である広い大地と、行く先となる大きな青空。そして大地から空に向かつて4つの柱として立っている。その柱に生活信条の4つが書かれている。その柱のたもとに「友」が集まるのが「仏壮」。その生活信条を宗として暮らすことが「宗活」。こんな構図を大義であり目的として進んでいきたいです。ご支援よろしく願います。

副理事長

長尾 敬行 (京都)



第25代専如門主の伝灯奉告法要の御満座を迎え宗門の新たな出発の年に、副理事長を仰せつかりましたが、伴侶を亡くし心の安寧を求め仏壮活動に参加した私としては心穏やかでない状況です。今後は、皆様のご協力・ご支援を得ながら、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に努めてまいりたいと思います。

副理事長

前田 浩治 (山口)



評議員としての二期目、副理事長を仰せつかりました。長尾副理事長と共に宮南理事長を支えていきたいと思ひます。仏教青年会、仏教壮年会と三十数年間で培った礎(お育て)をもとに、評議員の皆様のご理解とご協力を頂き、一歩ずつ進めていきたいと思ひます。宜しく願ひいたします。

新 評 議 員

北海道	東北	東京	長野	国府	新潟	富山	高岡	石川	福井	岐阜	東海	滋賀	京都	奈良	大阪	和歌山	兵庫	山陰	四州	備後	安芸	山口	北豊	福岡	大分	佐賀	長崎	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄
伊藤友一	選任中	宮南 靖	倉科 優	佐藤豊和	平澤茂則	坂上幸義	石浦栄一郎	河越邦夫	野原伸太	森 久元	岩田雅弘	安居 徹	長尾敬行	牛本逸巳	西尾豪士	道場雅夫	戸田 勲	村上 勉	西岡幸夫	甲田正規	森下洋壮	前田浩治	倉石 功	末松義成	明石和久	山田 直	山下和彦	荒木勝也	清水一生	内村玉樹	屋我真也

◎…理事長 ○…副理事長 ◇…理事

連盟講師・顧問就任

●今年度より丸山文雄講師(新潟)にご就任いただき、昨年度まで仏教壮年会連盟講師を歴任された南莊宏(東京)・漢見覚恵(滋賀)両師が退任され6名体制となりました。

【講師】

東京 宮本義宣(神奈川組 高願寺)
新潟 丸山文雄(巻組 万栄寺)
石川 谷間徹誠(江南組 光栄寺)
大阪 義本弘導(交野組 浄行寺)
安芸 高橋哲了(広陵東組 妙蓮寺)
大分 大原瑞雲(大野組 最乗寺)

●今年度より顧問に田仲隆行前理事長(奈良)が就任いただき、三嶋統吾顧問(熊本)が任期満了のため、退任となりました。

◆本年度新規単位登録名簿

2017(平成29)年4月1日～9月30日

教区	組	寺	単位会名
北海道	胆振	了英寺	了英寺仏教壮年会
国府	高田	眞行寺	眞行寺仏教壮年会 眞朋会
国府	川東	明願寺	明願寺仏教壮年会
新潟	地藏堂	勝圓寺	勝圓寺仏教壮年会
奈良	奈良	浄教寺	浄教寺門信徒会
山口	熊毛	常妙寺	常妙寺仏教壮年会
山口	豊浦西	西方寺	西方寺仏教壮年会 勇念会
北豊	田川下	福専寺	福専寺仏教壮年会
福岡	志摩	法林寺	法林寺仏教壮年会
鹿児島	川内	慶光寺	慶光寺仏教男性会

登録単位数 2552単位